

## 5 おわりに

尾瀬が昨年8月31日に会津駒ヶ岳等を編入し、日光国立公園から分離した単独の国立公園として認証されました。そして、その尾瀬を駅名に持つ日本唯一の鉄道駅である「会津高原尾瀬口駅」で会津線と会津鬼怒川線が結ばれています。「会津高原尾瀬口駅」は尾瀬への玄関口のみならず、会津地域と首都圏を結ぶ両鉄道を利用する旅行者にとって会津地域、さらには福島県の玄関口となっています。会津地域⇄首都圏間の直結輸送は両鉄道の担う重要な役割の一つです。今回の調査と分析を通して、いままでは知ることができなかったその利用状況と誘客による経済波及効果について具体的に把握することができました。

平成18年度1年間における両鉄道の首都圏からの誘客による経済波及効果は約39億円と計測され、これは会津地域経済全体（会津地域と南会津地域の地域内総生産計）の約0.2%の規模に相当します。両鉄道による首都圏からの誘客が増えれば、両鉄道の首都圏からの誘客による経済波及効果は増えた分だけ大きくなることとなります。

誘客によって地域にもたらされる経済効果を大きくするための方法としてまず真っ先に挙げられるのは、誘客を増やして地域経済に対する消費支出を大きくするという方法です。そのためには、単に両鉄道による誘客を増やすというだけではなく、会津地域への誘客を増やすという観点を持つことが重要となります。たとえ両鉄道による誘客が増えたとしても、結果として他の交通手段・交通機関による誘客を奪う形で増えているようであれば、会津地域を訪れる観光客全体は増えることになりません。両鉄道による誘客の増加が、会津地域を訪れる観光客全体の数を押し上げることによって初めて地域経済へ貢献していることとなります。

本来鉄道は移動手段であり、その行き先や沿線に求めるものがなければ利用者が増加することは通常ありません。しかし、会津線・会津鬼怒川線には他の交通機関にはない魅力があり、両鉄道自体が旅行者の求める観光資源の一つとなっています。単なるひとつの交通機関ではなく代替手段のないオンリーワンの交通機関として両鉄道が持つ魅力を活かすことは、両鉄道による誘客を増やすだけではなく、会津地域を訪れる観光客を増やすことにもつながります。

会津線は1次交通手段として他の交通機関を利用した県内外旅行者の2次交通手段としても多く利用されています。鉄道の利用方法を無視して、全ての「両鉄道を利用する旅行者」をそのまま「両鉄道による誘客」としてしまうのには問題があると考え、今回は「会津鉄道会津線・野岩鉄道会津鬼怒川線の誘客」を「会津地域と首都圏間の移動手段に両鉄道を利用した県外旅行者」として調査及び経済効果の計測を行っています。

実際に両鉄道が地域経済にもたらしている経済効果は他にも様々考えられ、その経済効果はさらに大きいものと考えられます。あくまで今回の計測結果はその一部であり、決してすべてではないことを御理解いただきたいと思います。

両鉄道に対する評価については、利用者数や営業成績といった側面だけではなく、地域経済への貢献といった視点で考えることも非常に重要であると思います。地域経済への貢献について評価するのは非常に難しいですが、利用状況に関する調査とその分析を定期的に継続して行うことにより評価することが可能となります。本報告書で行った調査と分析が少しでもその礎になれば幸いです。

関係機関の協力により、アナリーゼふくしまでは昨年の福島空港の分析に続いて、分析のための調査を実施することができました。調査によって得られたデータにより、前回にも増して分析対象の実情を反映した精度の高い分析を行うことができました。今後はさらに調査と分析のノウハウを蓄積し、さらに実情を反映した精度の高い分析を行っていきたいと思います。

「会津」という地名は、崇神天皇の時代に北陸を平定した大彦命（おおびこのみこと）とその子で東海を平定した武渟川別命（たけぬなかわけのみこと）親子が出会ったことに由来していると言われていています。東海を平定した武渟川別命は東海道から茨城県の毛野川、栃木県の鬼怒川を経て、会津地域の荒海川、阿賀川を下って大彦命と会津の地で出会ったとされています。この武渟川別命が通った鬼怒川～荒海川～阿賀川に沿って会津線・会津鬼怒川線が走っています。

最後に、「会津」の名の由来のように会津地域を訪れる多くの旅行者に多くの良い出会いがあることを、そして本報告書が少しでもその助力となることを祈念して終わりとします。

## 参考資料

- 国土交通省総合政策局(2007)『旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究Ⅶ』  
国土交通省東北運輸局(2006)『会津鉄道再活性化検討調査報告書』  
総務省(2004)『平成12年(2000年)産業連関表 - 総合解説編 - 』  
総務省(2004)『平成12年(2000年)産業連関表 - 計数編(1) - 』  
総務省(2004)『平成12年(2000年)産業連関表 - 計数編(2) - 』  
田島町(1990)『野岩・会津鉄道建設運動史』  
会津鉄道(株)(2007)「会社概要」  
会津鉄道(株)「運輸成績(昭和62年度～平成18年度)」  
野岩鉄道(株)(2007)「会社概要」  
野岩鉄道(株)「運輸成績(昭和61年度～平成18年度)」  
野岩鉄道(株)「旅客各駅相互発着表(定期外、昭和61年度～平成18年度)」  
福島県商工労働部(2007)『福島県観光客入込状況(平成18年分)』  
福島県企画調整部「平成12年福島県産業連関表」

## 写真提供

- 社団法人福島県観光連盟  
会津鉄道(株)